

研究計画書

ゼミ名	村澤ゼミⅡ	チーム名	村澤ゼミゼミ
タイトル	夫婦関係満足度の決定要因と家事・育児の分担		
テーマ群	g)その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>「研究背景」</p> <p>昨今話題となっているコロナ禍での離婚理由に家事や育児の不参加が挙げられるように、夫婦における家事と育児の分担割合が夫婦関係へ与える影響は少なくない。数十年前と比較すると共働き世帯数が増加していることから男性の家事や育児への参加は不可欠であり、夫婦関係の継続に重要な役割を果たしていると考えられる。そこで、夫婦関係満足度の決定要因は家事や育児であるのか、また夫婦関係満足度が最も高くなる割合について研究し、夫婦関係の改善要因を探っていく。</p> <p>「研究内容」</p> <p>この研究では、一般的に家事や育児の過半数を担う妻の視点から夫婦関係を見ていく。妻の家事や育児の負担が軽減されることで夫婦関係満足度が改善されると仮定し、慶応義塾大学パネルデータ設計・解析センターの「消費生活に関するパネル調査」を用いて、5段階評価で示される妻の夫婦関係満足度と家事、育児の相関関係についての計量分析を行う。また、家事や育児の他に妻の夫婦関係満足度を左右すると予想される年収や子供の数などの要因との関係についても調査し、妻の夫婦関係満足度の決定要因を探る。さらに、妻の就業状態によって分析が異なるかどうかを確認する。</p> <p>「期待される効果」</p> <p>まず、夫婦関係満足度の決定要因を探ることで妻が満足度の決定についてどの項目を重視しているのかを知ることができる。さらにこの研究を通して現代における家事や育児の男性の主体的参加の在り方を知り、円満的な夫婦関係の継続のための改善点を妻の視点から理解することができる。</p>		